

ニューズレター 第 18 号

大阪学院大学外国語学部

外国語学部は実績主義

—夢を実現した先輩に続いて下さい—

2024 年 3 月 19 日発行

大阪学院大学外国語学部では...

豊かな人間性と幅広い教養を兼ね備えた語学のエキスパートとなりうる人材を育成します。本学部で学び、進むべき道を見つけ、夢に向かってこれから社会に羽ばたく先輩の皆さんを紹介します。



素晴らしい人との出会いが導いてくれたグランドスタッフへの道

井上 莉那さん（2024 年 3 月外国語学部英語学科卒業。2024 年 4 月より ANA 沖縄空港株式会社にてグランドスタッフとして勤務予定。）

私は 2024 年 4 月から、ANA 沖縄空港でグランドスタッフとして仕事をスタートさせます。中学生の時から長年の夢が実現し、ANA のグランドスタッフとして働けることになり、大変嬉しく思っているのと同時に、支えてくださったすべての方に感謝いたします。

私は中学生の時、修学旅行で初めて飛行機を利用しました。不安とドキドキの感情が入り混じっていたその時、空港で迎えてくださったグランドスタッフの方が、「今日は修学旅行ですか。空の旅も楽しんでくださいね！」と話しかけてくださったのです。不安だった私にとって、その一言で不安が安心に変わったのと同時に、空港という場所

は飛行機に乗る事だけではなく、こんなにも温かい思い出が作れる場所なのだと感じる事ができました。これがきっかけで、私も人に影響を与えられる、ワクワクを届けられる仕事がしたいという思いが生まれました。

そして、数ある空港の中で私が沖縄空港に入社を決めた理由、それは「人」です。私は大学 3 年次に沖縄空港で開催された冬のインターンシップに参加し、そこで沖縄の明るく楽天的でゆったりとした人柄の人々の魅力に引き込まれたからです。夢が叶うまでは長く辛いこともありましたが、それでも夢を叶えることができたのは、大学の先生方、職員の方々、就職活動中に出会った仲間たちに沢山助けていただいたからだと思っています。



ANA の面接を通して沢山の仲間に出会えた
(本人最後列中央)

さて次に、コロナ直撃世代と言われた、私の大学生活についてお話したいと思います。私が大学に入学した 2020 年 4 月はコロナ禍真最中で、入学式も中止になり、全ての授業がオンラインで行われていました。大量の課題が送られ、パソコンとにらめっこの毎日・・・そんな大学生活がとても退屈で、何か自分にできることはないか、ひたすら考えました。そんな時に、大学で唯一、対面で行われていた講座がありました。それは「エアライン対策講座」です。そこで講師の先生と出会い、私の大学生活が変わりました。熱血指導をしてくださり、「絶対に受かせます。」その先生の力強い言葉に、私は大学でこんなに熱い指導をして下

さる先生に出会えたことに驚いたのと同時に、グランドスタッフになるという夢に対する思いが一層強くなりました。コロナ禍で採用が中止になり、夢を諦めかけたこともありましたが、私が 3 年次の時に幸い採用が再スタートし、やっぱり諦めたくない、諦めたら後悔すると思い、グランドスタッフ採用試験の受験を決意しました。

4 年次の本選考はエアライン受験に専念したかったため、3 年次の夏から就職活動に取り組んでいました。また、コロナ禍だからと言って何もせ



ANA の訓練施設

ずにいるのではなく、ANA の訓練施設に行き、それぞれの職種について学んだり、空港に行きモチベーションを高めたり、自分から行動を起こすことを大切にしていました。そして、その訓練施設で憧れの ANA の客室乗務員の方と出会うことが

できました。その方は私の尊敬する人物、私の目標の人となり、その方の背中を追いかけながら大学生活を送っていました。そんな毎日はとても楽しく、就職活動は全く苦ではありませんでした。一歩でも近づきたい、という気持ちでいっぱいでした。もちろん就活中は楽しいことだけではなく、精神的にも体力的にも辛くなった時もありましたが、「絶対にグランドスタッフになる！」という強い思いと、目標とする人がいたこと、周りの方々の沢山のサポートがあり、頑張ることができたのだと感じています。そして私は、4 年次の 6 月に内定を頂き、就職活動を終えました。

それからは、*キャリアチューターのお誘いをいただき、後輩の学生さんたちに私の就職活動の経験をお話しすることで、少しでもお役に立てたら

と思い、2 年生 3 年生の合同ゼミで出張授業をしたり、セミナーを行ったり等、精一杯務めさせていただきました。大勢の前で話す際どうしたらわかりやすく伝えられるのか工夫をしたり、本当に素敵な経験をさせていただきました。

私はこの 4 年間を通して、気づいたことがあります。それは、自分から行動を起こすと大学ってこんなにも学べるということです。大阪学院大学を選んで本当に良かったと心から感じています。これから大学生になる皆さん、在校生の皆さん、大学を思う存分活用し、沢山のことを吸収してください。沢山の学びがあり、沢山の出会いがあり、沢山の挑戦でき、人として成長できる場所です。自分次第で、充実した時間にいくらでも変えられます。その為には、自分から行動を起こすことです。こんなに自分のやりたいことや学びたいことに自由に時間を投入でき、挑戦できるこの期間は、一番贅沢な時間だと思います！人生の中でこのような経験ができる至福の時もう持てないと思います。そのうえ、挑戦することは社会人になると学生の時に比べて責任やリスクを負うことが多くなります。学生のうちに、沢山のチャレンジしてみてください。失敗しても、その失敗から何かを学ぶことに全力を傾けてください。きっと、その経験が自分を助けてくれると、私は信じています。



留学生たちとランチ
(本人前列右)

最後に、自ら主体的に動き、行動を起こした中でできたご縁を大切にしてください。思いもよらない出来事に巡り合うことや、人との出会いが広

がります。そして、尊敬できる人を見つけて追いかけてみてください。きっと、毎日が楽しく充実した日々になります。そして、日々の感謝の気持ちを忘れず、充実した4年間を過ごしてほしいと思います。(イノウエ リナ)

*キャリアチューター:

これから就職活動を始める後輩たちに、自身の就活体験を話し、相談を受け、適切な忠告をすることで後輩の就活を後押しする4年次生のこと。



夢を諦めなかった4年間

徳留 美輝さん(2024年3月外国語学部英語学科卒業。1年次から4年間LEI英語プログラムを履修。2年次の2021年夏期海外研修(カナダ、オンライン)に参加する。2年次から岸辺祭実行委員会に所属し、4年次に実行委員長に就任。2024年4月よりANA福岡空港株式会社にてグランドスタッフとして勤務予定。)

■ はじめに

私は幼い頃からグランドスタッフになることが夢でした。大阪学院大学に入学したのも*LEIで英語を学び、グランドスタッフを目指そうと考えたからです。ところが、故郷の鹿児島を出て入学を決めた私が入学直後に直面したのは、コロナ禍になり航空業界自体が苦境にあるという現実でした。それに対して最後まで夢を諦めず目指し続けて過ごしたからこそ手にすることができたグランドスタッフ内定だと思っています。

■ LEI

私は入学前、英語でのリスニングとスピーキ



LEIのクラスメイトと
(本人中央)

ングがとても苦手でした。LEIの授業が始まり、先生方が言っていることを理解するのに必死でとても大変でした。しかし、先生に積極的に話しかけて質問したりすることでリスニング力とスピーキング力を徐々に上げていきました。英語で

のプレゼンテーションやディスカッションがあったお陰で、就職活動中どんな英語面接があっても通過することができたと感じています。また、当初の私のゆっくりペースの英語でも最後まで忍耐強く聞いてくださるLEIの先生方がいたお陰で自分の英語に自信を持つことができました。さらに、私は授業とは別にMason先生にプライベート英会話もお願いし、先生と週に1回英語でお話をするので、そこでもスピーキング力を高めていきました。



LEIの教室で(本人中央)

■ 岸辺祭実行委員会

私は大学入学前から学園祭の運営に携わりたいと思いながら入学しました。しかし、1 年次の時はコロナのため岸辺祭（大阪学院大学の学園祭）は開催されず、2 年次でやっと岸辺祭実行委員会に所属することができました。そこから 3 年間実行委員を続けることができたのは、先輩や後輩、同級生の仲間に出会うことができたからだと思います。今思い返せば投げ出したくなることも、意見が違いぶつかることもありました。しかし 3



岸辺祭実行委員長としてアンパンマンショーを見守る徳留さん

年間続け、最後に実行委員長をやり切れたことも全て私にとって素晴らしい経験でした。責任感ある自分に気づくことができ、今後の社会人としての生活で

もきっと役に立つのではないかなと思います。辛いことも経験しましたが、それ以上に自分にとって学ぶことが遥かに多く、岸辺祭実行委員会に所属し、そして様々な役職を経験して本当に良かったと感じています。



岸辺祭で（本人前列中央）

社会人になった後も、「様々なことに臆せず挑戦する」という私が持っているこの意識を忘れずにどんどん上を目指して行けたらいいなと考えています。

■ 就職活動

私は幼い頃からずっと空港で働くグランドスタッフになることが将来の夢でした。大好きな英語を使いたいという思い、人と話すことが好きな私には接客業しかない！という思い、そして 1 番は

大好きな飛行機と空港で働きたいという思いでした。コロナ禍の中での入学になり、ニュースなどでは航空業界が大打撃というニュースも多く、周りからも厳しいのではないかと、違う道を考えるべきだと言われていました。現実にはわかっているけどどうしても諦め切れず、受けることができる説明会やインターンシップには参加をしていました。選考に進むことができ、実際に内定の電話を頂いた時の嬉しさは今でも忘れられません。コロナ禍でも頑張り続けたこと、最後まで夢を諦めなかったこと、岸辺祭実行委員会、LEI、スターバックスでのアルバイトや様々なことに挑戦して本当に良かったと心から感じました。



岸辺祭の PR の為 FM 大阪のラジオ番組「Clearance のラジアカ」に出演

■ 最後に

大学 4 年間というのは思っているよりすぐに過ぎてしまいます。高校生と違って様々なことに自分から行動する必要があります。積極的に行動した人がその分多くのことを学び、楽しめるのではないかなと思います。コロナ禍ではあったものの、私は 4 年間精一杯楽しむことができたと思っています。

（トクドメ ミキ）

*LEI 英語プログラム：

語学教育研究所（Language Education Institute: LEI）が運営する少人数制による国際人育成集中プログラム





努力、努力、努力。

大石 昂汰さん（2024 年 3 月外国語学部英語学科卒業。2024 年 4 月より近江八幡市役所で勤務予定。）

私は 2024 年 4 月から地元の近江八幡市役所で社会人生活をスタートさせる予定です。そこで今回、私がどのような学生生活を送り、どのように就職活動を



乗り越えたかを記していきたいと思います。少しでも皆様のご参考になれば幸いです。

私は留学をしたいという思いで大阪学院大学に入学しました。そのために毎日 TOEIC の勉強を欠かさず行い、そしてネイティブスピーカーのスタッフや海外からの留学生と交流ができる *I-Chat Lounge に足を運び、積極的に英語で話をするなどして英語力を高める努力をしていました。毎日、継続して努力した結果、TOEIC の点数も伸び、「これで留学ができる！」と胸が踊りましたが、新型コロナウイルスの影響により断念せざるを得ませんでした。留学を志し、大阪学院大学外国語学部に入學し努力してきたのに、その努力が水の泡となった気がしました。

大学 2 年次後期、留学を諦め、就職活動が気になり始めた頃、公務員を目指すという選択肢を見つけました。そこで水の泡になったと思っていたこれまでの日々の努力が活かされていく事に気づきました。

公務員を目指すにあたり、私は大学の教育課程だけでなく、大阪学院大学の *エクステンションセンターが提供する教育プログラムのなかの公務員試験対策講座を受講し始めました。大学の授業

終了後の 17 時 30 分から 20 時 40 分までの講座の受講を 1 年間毎日続けました。さらに、私は電車で通学していましたので、登下校中も電車の中で暗記物の勉強をするなどして時間を有効活用しました。また、公務員試験の勉強と並行して、*SPI や SCOA といった試験の対策も行いました。そこで私は気づきました。この公務員試験に合格するために継続して努力するという習慣が、TOEIC などの勉強を通して既に身につけていたのです。大学入学直後から留学を目指して一生懸命勉強したけれど、コロナ禍という社会情勢のために留学自体は諦めざるを得ませんでした。目標に向かって努力をし続けるという習慣が、次なる目標である公務員試験対策の学習に活かされたのです。

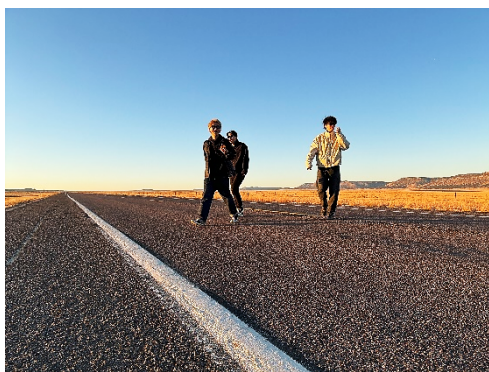
ところが、これだけすれば大丈夫と思い、自信満々で多くの自治体を受験するも、結果は「不合格」が続きました。筆記試験を通過しても、面接や集団討論などで落ちることもありました。公務員試験に合格するのは本当に険しい道だと身をもって感じました。しかし、最後まで「絶対に諦めない」という強い気持ちを持って、キャリアセンターで面接対策を徹底して指導してもらいました。そして最終的に、元々第一志望だった地元の近江八幡市役所から内定をいただく事ができました。



米国ユタ州 雄大なグランドキャニオンの景色
(本人中央)

不合格が続いた間もくじけずに強い心を持続できたのは、キャリアセンターを始め職員の方々、先生方、先輩方からの励ましのお蔭ですが、それに加えて、「これだけ努力したのだから絶対大丈夫」という自分の努力に対する誇りと自信があったからだと思います。留学のために勉強に励んだこと、公務員試験のために継続して勉強したことに何一つ無駄なものはないと心から思います。

ここまで記してきたと思うことは、本当に人は何者にもなれるということです。私は大学に入学した頃は公務員になりたいと思っていませんでした。でも外国語学部だからといって公務員試験に不利なんてこともありません。自分の努力次第で何者にもなれるのです。私は 4 月から市役所職員として住民の皆様のご生活に寄り添った仕事をしていきたいと思っています。ここでもまたさまざまな困難にぶつかるとは思いますが、大学で身につけた「努力」で道を切り開いていくつもりです。



映画 Cars の舞台となった Route 66
(本人中央)

最後になりますが、大阪学院大学での 4 年間は本当に有意義なものでした。留学ではありませんが、初めてアメリカに旅行に行くこともできました。このかけがえのない 4 年間で遊びも勉強も目一杯味わってください。また、エクステンションセンターの講座は指定校推薦の方は無料で受講できるという素晴らしい制度もあります。大阪学院大学の施設を十分に活用して理想の自分になれるように努力すれば、道は切り開けます。「努力、努

力、努力。」を忘れずに何事にも挑戦してみてください。皆さんの大学生活が有意義な 4 年間になることを願っています。(オオイシ コウタ)

***I-Chat Lounge :**

英語ネイティブスタッフによる英会話スペース

***エクステンションセンター :**

資格取得やスキルアップをサポートする講座。
資格試験を知り尽くした専門学校講師を招聘し、宅地建物取引士や旅行業務取扱管理者などの国家資格をはじめ、公務員・航空業界などの各種就職対策等さまざまな講座を開講。

***SPI、SCOA :**

就職の採用試験で用いられる総合適性検査



LEI、学友会、資格取得、 そしてホテル就職へ

川上 琴音さん (2024 年 3 月外国語学部英語学科卒業。1 年次から LEI 英語プログラムを履修するとともに学友会中央執行委員会に所属。2024 年 4 月より株式会社ジェイアール西日本ホテル開発 ホテルグランヴィア京都 入社予定。)

■ 大学入学まで

幼い頃から英語塾に通わせてもらい、英文法やリーディングが得意だった私は英語を学ぶために大学へ行こうと考えていました。しかし、絶対に行きたかった第 1 志望の大学への進学は叶わず、高校 3 年生の 1 月になっても進学先が決まっていなかったため、外国語学部がある大阪学院大学を勧めてもらい 2020 年 4 月に進学することになりました。これが私の大学生活の始まりです。

■ 大学 1 年次

新型コロナウイルスの影響で入学式も無く、第 1 志望校でもないため、入学当初は大学へのモチベーションはそれほど高くありませんでした。ところが、入学してすぐ LEI 英語プログラムを知り、「これに受ければ私がこの大学に来た理由ができる！」そう思い申し込みをしました。筆記試験は昔から得意なリーディングやライティングだったので自信がりましたが、2 次試験では初めての英語面接でとても緊張して、落ちたと思いました。しかし結果は合格。授業が始まってすぐはオンライン授業だったため友達が出来ず、このまま私の大学生活は終わっていくのだと考えていました。

対面授業が開始してからも、1 年次の頃は自分の英語に自信が無く、失敗を怖れて英語で発言することが出来ずにいました。LEI の授業では何よりも自分の意見を求められる場面が多く、みんなの前で発言しなければならない事が私にとって 1 番の課題でした。しかし、ある時私が簡単な単語を並べた英語で先生に話すと、先生は理解してくれました。その経験から、相手に伝えようとする姿勢が何よりも大切なんだと学びました。



Mason 先生 (右から 2 番目) を囲んで
LEI のクリスマス会
(川上さんは左端)

その後は間違いを恐れず、積極的に授業に参加し、分からないことは恥ずかしがらずに言うことを徹底しました。他の人には簡単なことではありますが、私にとっては大きな成長でした。LEI ではとても良い仲間に出会うことができ、お互いに刺激し合える良い環境に恵まれました。この LEI に所属していなかったら、大学を辞めていたかもしれないと思うほど私にとって大きな存在です。LEI は大学生活 1 番の大きな軸であり、今後の人生の支えになるものだと考えています。

■ 大学 2 年次

昔から憧れていた留学はコロナの影響で断念しました。しかし、LEI の他にも大学生活を有意義に過ごしたいと考え、1 年次から *学友会中央執行委員会に所属したり、2 年次夏に *国内旅行業務取扱管理者の国家資格取得にも力を注ぎました。



学友会中央執行委員会の委員たちと
(本人前列左)

高校まではソフトテニス部に所属しており、学校の運営などの裏方の仕事に一切関わってこなかったのですが、大学入学をきっかけに何か新しいことを始めようと思い、学友会中央執行委員会への入会を決めました。4 年次では副会長として卒業式や入学式の運営、*『アプローチ』の作成・編集に携わりました。コロナ禍のため色々な制限がある中で、学生課の職員の方々と組織として動く力を身につけることが出来ました。



学友会として岸边祭に出店
(本人左から 2 番目)

コロナ禍で旅行ができない期間であったにもかかわらず、国内旅行業務取扱管理者の資格を取得したのも、大学生としての限られた貴重な時間を一瞬とも無駄にせず自己研鑽に使いたいと考え、大学のエクステンションセンターを利用して勉強しました。

■ 大学 3 年生 ～就職活動～

私は就職活動において以下の 3 つの点を軸として据えました。

- ①長く働く事が出来る環境
- ②英語を生かした仕事
- ③人が喜ぶ姿が見られる仕事

①を見極めるために、私は入社を決める前に実際に職場を見に行くことによって雰囲気などを直接感じる機会を作りました。②は LEI に所属して得た英語力を仕事で使いたいと考えたからです。語学は使わないとすぐに忘れてしまうので卒業してからも日々勉強だと思っています。③は私がホテルに就職したいと考えた 1 番大きな軸です。これは今まで経験したアルバイトが影響しています。1 年次の夏頃から地元のケーキ屋で接客をしていました。そこでたくさんの方とコミュニケーションをとる事で、自分が「人と話すことが好き」、「誰

かが喜ぶ姿を見たい」ということに気がつきました。

3 年次の夏に 2 週間ホテルのインターンを経験しました。そこではラウンジやレストランで食器のバッシング (bussing 片付け) やテーブルセットを任されました。インターン終了後アルバイトとして同じホテルのレストランで約半年働いていました。ホテルのアルバイトをするまでは漠然と将来は接客業に就きたいという考えを持っていましたが、アルバイトをきっかけにホテルマンになりたいとはっきりと心が決まりました。それから様々なホテルのインターンに参加し、できるだけ多くのホテルに足を運びました。パンフレットでは良さそうでも実際行ってみることで、想像していたものと違うことや、行ってみて初めてわかったこともたくさんありました。

最後に私から皆さんへ伝えたいことは、「気になったことはとりあえずやってみること」の大切さです。4 年間はあっという間に過ぎます。その中で、少しでも興味があると思ったことにどんどん挑戦してみたいです。それが今後、大きな分岐点になるかもしれません。

皆さんの大学生活が充実したものになることを願っています。
(カワカミ コトネ)

*学友会中央執行委員会：

学友会とは、本学在学学生全員、およびその学生で構成するクラブ・サークルの総称。中央執行委員会は、学友会の意志決定及び議決機関として、学友会の運営を行う組織。

*国内旅行業務取扱管理者：

旅行に関する専門知識や技術を身につけた旅行業務の専門家であることを証明する国家資格。

*『アプローチ』：

学友会によって毎年新入生のために作成・編集

されている小冊子で、大学のクラブ・サークルの紹介や大学施設の説明等を掲載。



編集後記

2024 年 3 月 19 日は、コロナの制限が完全に解除されてから初めての卒業式（学位授与式）となりました。この日卒業したのは、主に 2020 年に大学に入学した学生たちです。彼ら彼女らは（本号 1 ページの井上さんの言葉を借りるなら）「コロナ直撃世代」です。大学入学直前から始まったコロナ感染症拡大を受けて、入学式の中止、遠隔授業の全面実施、クラブ・サークル等課外活動の禁止、大学祭の中止、留学プログラムの停止……。大学での自由で楽しいキャンパスライフを経験できずに、時間が過ぎていきました。


対面授業が戻ってきたあとも教室でのマスク着用と距離をおいての着席、アクリルシートが設置された食堂での黙食、飲み会の禁止等が強いられました。やっとオンサイト留学（オンラインではなく、現地に行くタイプの留学）が再開された時には 3 年次後半になっており、就職活動と留学のどちらを優先すべきか決断を迫られることになりました。

そのような状況のなかで、初志貫徹しグランドスタッフとしての採用を獲得した井上さんと徳留さん、夢だった留学から公務員試験突破へ大きく舵を切った大石君、在学中に国内旅行業務取扱管理者の国家資格を取得しホテルでの採用を獲得した川上さん。いずれもコロナ禍に翻弄されながらも、逞しく立ち向かい、夢を実現しました。卒業後はそれぞれの立場で社会やコミュニティに貢献し活躍してくれることを期待しています。

Y.K.

ニューズレター 第 18 号

発行日	2024 年 3 月 19 日
発行者	大阪学院大学外国語学部
発行者住所	〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目 36-1
電話	06 (6381) 8434
学部 URL	http://www.osaka-gu.ac.jp/dhp/gaikokugo_gakubu/



Newsletter No.18

素晴らしい人との出会いが導いてくれたグランドスタッフへの道

井上 莉那 1

夢を諦めなかった4年間

徳留 美輝 3

努力、努力、努力。

大石 昂汰 5

LEI、学友会、資格取得、そしてホテル就職へ

川上 琴音 6

編集後記

..... 9



OSAKA GAKUIN UNIVERSITY